

World Vision

この子を救う。未来を救う。

NGO長期スタディ・プログラム



特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
海外事業部 池内千草
<http://www.worldvision.or.jp>

本日の発表

- ワールドビジョンについて
- 研修の目的、研修中の活動について
- タイ ラノーンでのモニタリング

ワールドビジョンの歴史

「すべての人々に何もかもはできなくとも、誰かに何かはできる」

World Vision

この子を救う。未来を救う。

1950年9月 アメリカ
キリスト教宣教師ボブ・ピアス

1953年、チャイルド・スポンサー
シップ開始

1960年代初め、日本を含む6カ国
150カ所の孤児院を通じ約13,000人
の孤児を支援

1970年代、20カ国30,000人を超える
孤児支援からコミュニティ支援へ

2010年…

世界で380万人のチャイルドを支援



ワールド・ビジョン・ジャパンの歩み

World Vision

この子を救う。未来を救う。

- ・1987年10月設立
- ・1988年バングラデシュで、チャイルド・スポンサーシップによる支援を開始(支援チャイルド438名)
- ・1995年阪神・淡路大震災緊急援助
- ・1999年9月特定非営利活動法人 認証取得
- ・2002年5月認定NPO法人(国税庁より)
- ・2004年12月スマトラ沖地震津波緊急援助
- ・2007年10月創立20周年
体験型イベント「教科書にのってないアフリカ」開催
記念絵本を出版
- ・2010年 Child Health Now
-アクション! 救えるはずの命のために



ワールド・ビジョン活動データ

World Vision
この子を救う。未来を救う。



WVJスタッフ

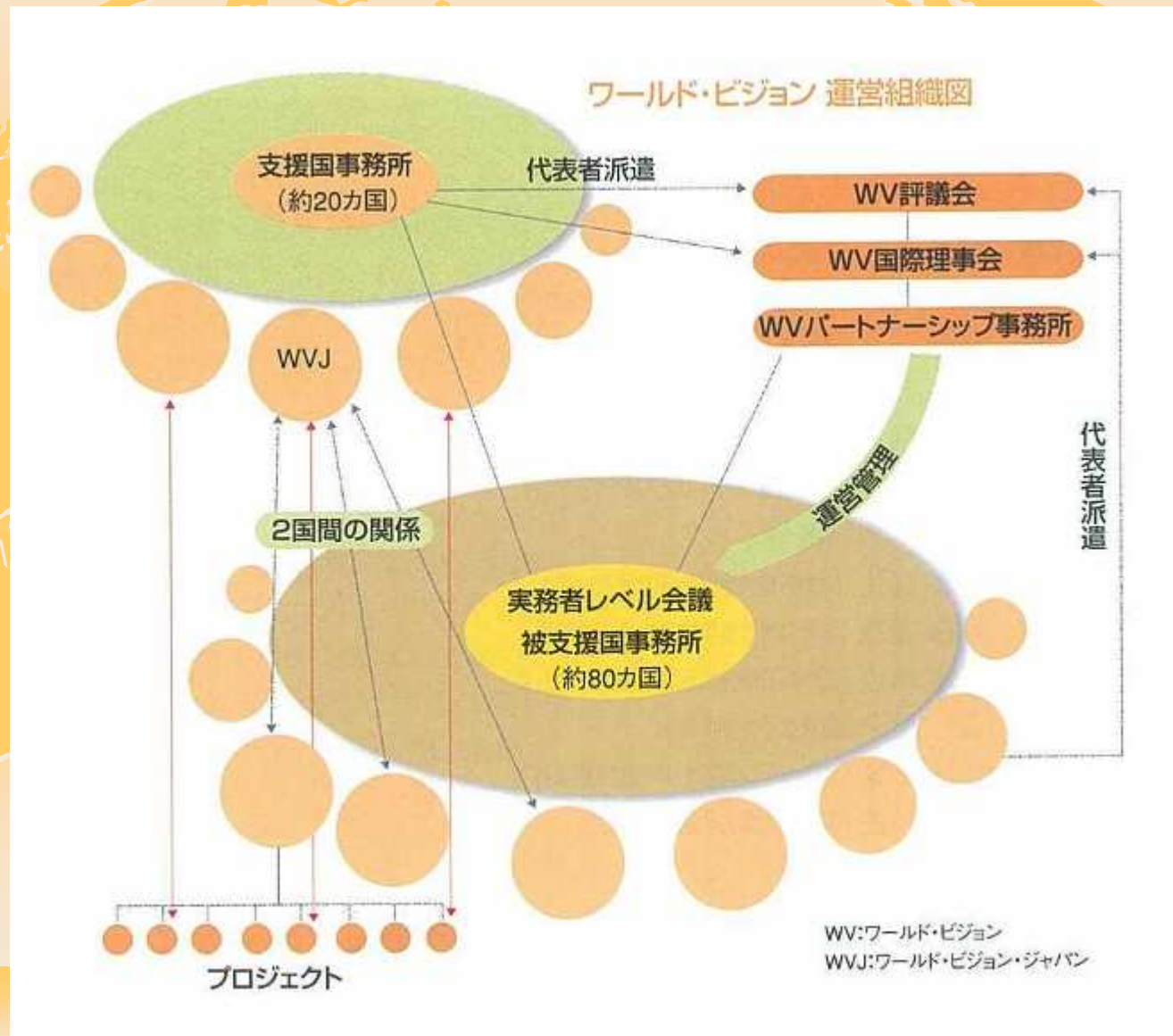


- 活動国
 - 96カ国
- スタッフ数
 - 69人(WVJ) / 4万人
- 受益者数
 - 約1億人
- 総収入額 (WVJ)
 - 37億7,452万円(2009年度)
 - 個人、企業
 - 助成金(政府、民間、国連等)

ワールドビジョン組織図

World Vision

この子を救う。未来を救う。



研修期間：2009年9月7日-2010年3月8日

受入機関：ワールド・ビジョン アジア太平洋地域事務所 (WV APRO) カンボジア・タイ

研修テーマ

- WV APROが実施する「人身取引とアドボカシーに係る地域プロジェクト(拡大メコン地域)」に関与することにより、人身取引の分野における事業の運営管理、国境をまたぐ事業の企画・形成・実施・評価、及び効果的なアドボカシー活動のあり方について、実践的知識を習得する。

全体研修目標

- 事業対象地における人身取引の問題の所在を知る
- 事業対象地域における事業内容を踏まえ、メコン拡大地域におけるアドボカシーの効果的な実践方法を学ぶ
- アドボカシー地域プロジェクトの第2フェーズ企画・立案への効果的な提言を行う

具体的な研修内容

- 事業地の活動の視察(カンボジア、中国、タイ)
- 事業地での活動のブリーフィング(カンボジア、中国、タイ、ミャンマー、ラオス)
- 地域アドボカシー・プロジェクトの運営・監理の補助
- 現地で開催された、ワーキング・グループやワーク・ショップへの参加
- UN機関やJICA、現地(国際)NGOなど、協力機関との合同会議への参加

6ヶ月間のスケジュール

滞在先		カンボジア				タイ		
内容	方法	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象地における、人身売買の問題の所在を知る。	・二次資料から情報収集 ・事業地訪問 ・現地スタッフと協議	中国出張 ・国内出稼ぎ問題についての調査	地域事務所 ・第2次資料から、GMS諸国における、人身取引の問題の所在について調べる	カンボジア ・WV地域プロジェクトのパートナーからブリーフィングを受け、売春宿から救出された少女たちが収容されるシェルターの活動について調査	中国、カンボジアでの成果のまとめ	ミャンマー出張 ・人身取引の問題の所在を現地スタッフからブリーフィングを受ける	タイ ・フォーカス・グループ・ディスカッション(FGD)に参加。WVが今後計画している水産業のキャンペーン(エビ加工工場や、遠洋漁業などでの外国人の強制労働について)に取り掛かる前に、関連団体から水産業の現状について聞き取りをし、キャンペーンのターゲットを絞った。	最終報告書作成
事業対象地で行われている事業内容(予防、保護、訴追、社会復帰)を学び、それぞれの達成事項、チャレンジ等を分析する	・二次資料から情報収集 ・事業地訪問 ・研修とワークショップの企画・立案	中国出張 ・WV香港の支援で行われている、ストリート・チルドレンのプロジェクトの視察、ブリーフィング	カンボジア ・予防・プロテクション・訴追(社会復帰)のプロジェクトの内容を知る		カンボジア ・プンベンにある、性的搾取を受けた少女対象のシェルターを訪問、事業のブリーフィングを受ける。 ・カンボジア事務所が行う、社会復帰のプロジェクトの活動に参加し、家庭訪問を行った。	地域事務所 ・WV地域事務所主催の「ケアを受け、守られ、参画する子ども」のワークショップに参加。WVにおける人身取引のプロジェクトの根幹に係る問題について話し合った。	タイ出張 ・タイで人身取引のホットスポットである、ラノーン(南部港町)でプロジェクトの視察。ミャンマー人の出稼ぎ労働者が多くいる町で、その子ども達(違法、合法滞在両方)に対する教育の場となっているラーニング・センターと、遠洋漁業船で強制労働させられた男性30人の保護されているシェルター、レイプ、ネグレクトなどの被害にあった子どもの保護されているシェルター(今後は人身取引の被害者なども保護する予定)などを訪問し、現地のスタッフと意見交換した。	最終報告書作成
事業対象地と、地域全体において法的整備の現状を学び、アドボカシーの効果的な実践方法を学ぶ	・二次資料から情報収集 ・各国でのアドボカシー活動や、関連する会議に参加する。	地域事務所 ・10月から開始予定のキャンペーンについての打合せ 中国出張 ・「人身売買とアドボカシー」ワークショップ参加 ・現地事務所スタッフ対象のアドボカシー研修に参加	カンボジア ・現地日本大使館を訪問、事業内容の説明と今後の協働についての依頼 ・「第5回人身取引WG会議」の準備 ・UNIAFの「金融危機における労働者の保護」活動への連携、FGDに参加 ・カンボジア政府との人身取引における予防のWG会議参加	地域事務所 ・「第5回人身取引WG」 ・「チーム会議」の準備 ・「第5回人身取引WG」 ・「チーム会議」に参加 ・JICAタイ事務所の人身取引事業の専門家と今後の連携の可能性について面談 ・アドボカシーの手法を学ぶため、「アート・フェスティバル」に参加	地域事務所 ・「第5回人身取引WG」の報告書のまとめ	地域事務所 ・地域プロジェクトとの関係諸機関と打合せ(UNIAF, SC UK, ILO, UNICEF, ECPAT) ・拡大メコン地域キャンペーンの打合せ ミャンマー事務所 ・JICAミャンマー事務所を訪問し、当時形成中だった、JICAのプロジェクトに対してインプットを行った	COMMIT(GMS諸国の高官が同意した、人身取引に対する協働の取り組みの合意書)の振り返りの集まりがUNIAF主催で行われ、そこに参加。	最終報告書作成
研修で学んだことを、帰国後に還元する方法を検討する	今後のWVの活動計画に沿って、担当者と連携しながら計画を立てる					帰国後の活動報告会、WVカフェなどのスケジュールについて、東京事務所の関係者と調整 ・アドボカシー担当者との今後の活動の可能性について検討	帰国後の報告会の資料作成 ・アドボカシーに係る活動の計画を担当者と調整	課内、事務所内、及び一般の方を対象にした報告会をそれぞれ実施

本研修成果と活用方針・方法

- WVJは今後3年間、GMS諸国において2億円の予算で人身取引案件を支援することが決まっており、アジア太平洋地域事務所の担当者と、その企画・立案を行っている。
- 7月末にワールド・ビジョン・カフェ(WVJの活動のご支援者等を対象に行う活動報告会)で、研修の成果を発表
- 10月頃(予定)に、ワールド・ビジョンのアジア地域にある支援事務所の担当者に対して、人身取引の問題の啓発と、今後の資金援助の方向性を計画するためのワーク・ショップを行うことになっている。
- 現地の関係者とのネットワークの構築ができた。

World Vision

この子を救う。未来を救う。

ラノン・モニタリング 2010年2月23-26日



World Vision

この子を救う。未来を救う。



スケジュール

23-Feb	20:00	バンコク発(バンコク南バスターミナル)
24-Feb	5:00	ラノーに着
	11.00-12.00	ラノー事務所にて活動のブリーフィング
	12.00-13.00	昼食
	13.00 - 16.00	3つのラーニング・センター訪問
	16.30 - 17:00	ケース・マネジメントについてブリーフィング
	17:00-17:30	ユース・グループとの顔合わせ (Than Num Rae group)
	18:00	夕食
25-Feb	9.00 - 15.00	シェルター訪問 (男性用シェルターと、家族用シェルター)
		ラーニングセンターの教師と交流
	15:00-16:00	ワールドビジョンスタッフによる、家族用シェルターでのインタビュー
26-Feb	8:00	ラノー発
	18:00	バンコク着

WVタイ事務所の活動

国レベル

- RACTP (Regional Advocacy Child Trafficking Project)
- MDRTS II (Mekong Delta Regional Trafficking Strategy Phase 2 Project)
[実施地域: サクランプリ(タイ) + 国レベル]

活動は、WVが実施しているADP(地域開発プログラム)の実施地域で行われている。

1. 予防
2. プロテクション
3. 国境地域における協働体制の強化
4. プロジェクト運営能力

行政区レベル

- ASAP(WVAUS) (Assistance, Support and Protect Trafficked Women and Children)
[Project site: 5 locations]
- Hong Kong Project (WV Hong Kong)
[Project sites: Aranyaphrathet (CAM migrant children)]
- Ranong Shelter Project (WV US)

ラノンでの活動

- ラノン事務所の目標:
政府機関の中に、人身取引への取り組みのしっかりした枠組みを作る

活動内容

- 1) 地域のタイ人とミャンマー人に医療サービスを提供する。
(ラノンでのWVの活動は、保健センターをベースに行っている)
- 2) 人身取引問題への取り組み
対象:ミャンマー人の出稼ぎ労働者(合法、違法)
 - ・ MDT、地方政府(警察省、社会保険省など)、県職員(警察省、社会保険省など)と出稼ぎ労働者の間をつなぎ、ネットワークをつくる。
 - ・ シェルター支援、ラーニングセンター支援等

ラーニング・センター

バックナム・ラーニングセンター

- 2006年設立 教師2人(タイ1人、ミャンマー1人)
- 生徒数58人 (男:27人、女:31人)
- 幼稚園～小学校2年生

ビクトリアン・ラーニングセンター

- 1997年設立 教師7人(タイ1人、ミャンマー6人)
- 生徒数235人 (男:119人、女:116人)
- 幼稚園～小学校7年生

ワタナ・ラーニングセンター

- 2001年設立 教師4人(タイ1人、ミャンマー3人)
- 生徒数112人 (男:48人、女:64人)
- 幼稚園～小学校5年生

World Vision

この子を救う。未来を救う。

パックナム・ラーニングセンター



World Vision

この子を救う。未来を救う。

隣接のタイ学校で学ぶミャンマー人生徒



シェルター

家族用シェルター

- 2008年10月認可、2009年1月開設
- 対象：女性、男性、子ども
- 活動内容：ホットライン1300、緊急対応のシェルターとして機能
- 滞在期間：7日～3ヶ月
- 現在3人の被害者が保護されている(女性1人、子ども2人)

男性用シェルター

- 2008年11月認可、2009年1月開設
- 対象：18歳以上の男性
水産業での人身取引被害者(タイ人・外国人)
- 滞在期間：4 - 6ヶ月
- 現在25人の水産業の被害者が保護されている(内、16人は訴訟をおこなっている)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

家族用シェルター



World Vision

この子を救う。未来を救う。

男性用シェルター



World Vision

この子を救う。未来を救う。

ラノー船着場





World Vision

この子を救う。未来を救う。



ありがとうございました